

平成 27 年 12 月 18 日

一関市長 勝部 修 様

一関市議会議長 千葉 大作

市民と議員の懇談会に基づく提言について

市議会では、今回で5回目となる『市民と議員の懇談会』を11月11日より20会場で開催しました。

市政全般に亘り、貴重なご意見や要望を頂戴しました。

これらの意見を今後の市政運営に反映して頂きたく、議会運営委員会を中心に協議し、次の項目にまとめ、提言致します。

市当局におかれましては、市民の願いを真摯に受けとめて頂き、その実現に向けて意を配し、市政運営を行われよう念願するものであります。

なお、市内全ての高校との懇談会を開催中であり、高校生との懇談結果は別途提言を致します。

記

- ① 市民の意見や要望の多くは、当局に対する内容が多く、日頃より支所長などの幹部職員が現場の声を吸い上げることに意を配した取組を行うこと。
- ② 少子化対策等、全ての施策を実現する根幹は、安定した雇用の確保であり、地場産業振興や企業誘致に取り組むこと。
また、地域農業の振興及び農地の維持のため、営農支援や多面的機能支払交付金及び中山間直接支払交付金等を活用した施策の強力な推進を図ること。
- ③ 急速に進む少子・高齢化に対応するため、総合計画や総合戦略の具体的な取組を強力に行うこと。
特にも、幼稚園、保育園の違いにより、子育て環境に差異が生じないような仕組みや、教育環境の整備に当たっては、地域の状況を配慮し将来を見据えて取り組むこと。
- ④ 市民の安全安心な確保のため、災害時の避難対策、行政情報無線の難聴対策を含む社会资本整備及び原発事故対策を加速度的に実施すること。
加えて、医師等の確保や介護の人材確保を強力に取り組むこと。
- ⑤ 市民センターの指定管理を行うにあたり、市民の不安の払しょくに努め、真に協働のまちづくりの拠点となるよう、丁寧な説明や対応を行うこと。
- ⑥ ゴミ処理などの焼却場問題は、全市民的課題として取り組むこと。

懇談まとめ 182 項目（議会関係は除く）

【 I L C 】 — 7

- (1) 議会も含め、取組が弱い。国や県を動かす強力な取組を。地域振興の起爆剤を期待。(大東)
- (2) 事業規模、負担割合が判らない。(一関)
- (3) 万が一、誘致がならない場合の地域づくりを考慮すべき。(一関)
- (4) 誘致にはデメリットもある。これも含めた講演会開催を。(一関)
- (5) トンネル残土、残土運搬、予算、自然破壊、放射能ゴミなどの問題を含め検討すべき。(一関)
- (6) I L C は否定しないが、そこで、暮らしている市民の生活を守ることが大事。(一関)
- (7) I L C には反対。使用済み核燃料の保管となる危惧。(藤沢)

【市民生活】 — 68

- (1) 自殺対策の拡充を行うこと。(千厩)
- (2) 婚活を広域的に実施のこと。(千厩)
- (3) マスメディア等を活用し、市の情報発信を行うこと。(千厩)
- (4) 市のホームページはお粗末。農産物販売や観光とリンクしない。(一関)
- (5) 固定資産税の納期を細分化し、納税環境の整備を行うこと。(千厩)
- (6) 総合戦略などについて、市民へ周知を図ること。(千厩)
- (7) 財政上厳しくなるなか、魅力ある地域づくりに総意工夫が必要である。(千厩)
- (8) 建設農林センターが設置されたが、災害時に円滑な対応ができず。また、設置について事前の説明がなかった。(千厩)
- (9) 10%程度が空き家の状況。相続も放棄しているのでないか？地域づくりの目的、効果、将来展望が理解されていない。(千厩)
- (10) 協働推進協議会の開催が休止中。協議や情報交換の場の設置を希望(千厩)
- (11) 行政区長の業務量、報酬がアンバランスである。(千厩、花泉) 合併後 10 年で業務量が増加しているが、報酬は上がらない。後継者がいない。(大東) また、広報等に差し込み資料が多く負担大。(一関)
- (12) 行政情報無線の聴取範囲調査に地域からも参加させるべき。また、マスト設置後の状況を地域と協議のこと。聞こえない地域が多い。(千厩、花泉)
- (13) 新卒者の都会への流出を抑えることは無理。現実的な U ターン対策に注力。(川崎、一関)

- (14) 街路灯としての維持管理は無理、防犯灯に変更したい。(川崎)
- (15) 公民館から市民センターに移行しても、社会教育や文化分野の後退がないように。
市民センター化（指定管理）に不安。経費も住民に負担がないように。
(川崎、花泉)
- (16) 指定管理された施設の維持管理不十分。地域が判る方が管理を担う体制を。
(川崎)
- (17) 支所の人事異動が短期すぎる。地域課題を相談できる体制を。地元OBの活用を。(川崎、一関)
- (18) 市の財政が心配。債務が増加しないように。
- (19) 合併して10年。旧市町村の制度が統一され、不便な点もある。検証が必要でないか。(大東)
- (20) 公共交通、バスの運行時間に見直しを。(一関、大東、藤沢)
- (21) 市営柴宿アパートは空いている。家賃を下げれば入居者がいるのでないか。
(東山)
- (22) 市営山谷住宅の家賃が年々上がり、他に引っ越しした。なぜ、家賃が上昇するのか。(東山)
- (23) 若い人に冷たいまちの印象。政策を若者中心にできないか。(東山)
- (24) 瑕疵ある議決で判るように、指定管理団体の役員には議員が入らないように改善を。(一関)
- (25) 総合計画等は、各界各層の意見を入れ、市の特色を生かし、具体的な中身が見える計画とされたい。(一関)
- (26) 市営関が丘アパートは廃屋化。周辺の環境悪化の要因。今後の運営の情報を地域に。(一関)
- (27) 市営住宅隣接地の環境整備を自主的に実施。廃棄物が発生しても市の対応がない。また、感謝の言葉もない。(一関)
- (28) マイナンバー制度の情報提供を広報以外の媒体も活用し、判り易い説明を。
(一関)
- (29) 計画策定時に、審議会と有識者会議があるが、その位置づけを明確に。
(一関)
- (30) 関が丘コミュニティセンターは避難所に指定。老朽化で役割を果たすことができない。(一関)
- (31) 人口減少対策は成功事例があるのでないか。そこから学び、一関に合った施策を。(一関)
- (32) 市内のイベント開催は日程が重複しないよう連携が大事。(一関)
- (33) 公用車を平泉ナンバーにして、その効果は。(花泉)

- (34) 民間のキャリアを活かすために、分野毎にキャリア、経験を地域づくりに活用できないか。(花泉)
- (35) 行政改革の名の下で、市民に負担、不便が生じることがないように。(花泉)
- (36) 雇用確保が施策の原点。年収2百万以下の世帯増加。生活ができない。(各地域)
- (37) 一部でのデマンドの導入は不公平。全域で導入を。(一関)
- (38) 支所の機構を統一すべき。空きスペースの活用を。(一関)
- (39) 人材派遣会社は、労働者の扱いが劣悪。雇用環境の改善を。(一関、花泉)
- (40) 公民館(市民センター)のない地域の施策展開をどのようにするのか。(一関)
- (41) 防犯灯等の維持が大変。行政区への支援拡充を。(一関)
- (42) 市の広報は月2回必要ないのでないか。(室根)
- (43) 空き家解体した場合の固定資産税が増加しない施策が必要。(室根)
- (44) 国土調査はでたらめ。(室根)
- (45) 市からの文書に誤字がある。(室根)
- (46) 広域連携は、室根の場合、気仙沼と密接な関係がある。医療や福祉分野で連携を。(室根)
- (47) 花泉の雇用促進住宅を存続に向けた対応を。(花泉)
- (48) 市営住宅の老朽化対策を。(花泉)
- (49) JR花泉駅での指定券購入ができるよう復活を。(花泉)
- (50) 各地に石碑が多くあり、管理が不十分。今後の対応の検討を。(花泉)
- (51) 地域消防団加入推進を。(花泉)
- (52) 藤沢地域では路線バスの廃止問題がある。対策を。(藤沢)
- (53) 学校統合後の活用が進展しない。(藤沢)
- (54) 大籠地域の進出企業の悪臭が酷い。対策を。(藤沢)
- (55) 宮城へアクセスできるバス確保を。(藤沢)
- (56) 婚活について、他の自治体に比べ積極性がない。(藤沢)
- (57) 藤沢で地域づくりの計画を策定。市の総合計画に反映を。(藤沢)
- (58) まちづくり基本条例が必要。(藤沢)
- (59) 以前にあった『未来塾』は、仲間づくりができ、よかった。若者が地域愛を持てる支援を。(一関)
- また、工業団地内の企業で働く横の連携で仲間づくりが有効。(一関)
- (60) 一関は地の利(新幹線、IC)そして、海も近い。有利性がある。(一関)
- (61) 婚活を商工会議所に委託する方法がある。ただし、金は出すが口は出さないこと。(一関)

- (62) 国体開催に向けて開催施設の再点検が必要。(一関)
- (63) 市民センターの受け皿として、既存の同様な組織があるが、新たに組織を造る必要があるか。(大東)
- (64) 鳥獣対策は小手先ではなく、抜本的な対応を。(大東)
- (65) 自治会運営が財政的にも困難。自治会運営に資する支援制度の調査を。(大東)
- (66) 協働は行政が引っ込むように感じる。官に頼るわけでないが、一緒に考えて。(大東)
- (67) 興田地区でアンケート実施。住みやすいとの意見がある反面、雇用や婚活などの課題。市政の情報として、議会の会議録などの情報を各図書館等への配布を。(大東)
- (68) 財政収支からして財政再建団体にならないような運営を。(大東)

【保健・福祉】—24

- (1) 民生児童委員の増員及び適正な報酬のもとに活動できる環境整備を行うこと。(千厩)
- (2) 要支援者への支援体制に万全を期すこと。(千厩)
- (3) 福祉計画は安易に『ボランティア』に頼る内容に感じる。財政の裏付けで対応すべきである。(千厩)
- (4) 介護人材確保に注力を。(千厩、川崎)
- (5) 千厩病院の医師確保等、医療体制の強化拡充を。(千厩)
- (6) 磐井病院への医師(眼科医)招聘を。(川崎)
- (7) 子育て支援は、具体的なビジョンが必要。(大東)
- (8) 民生児童委員の選出に年齢制限がある。高齢化社会のなか、実態に合わないのでは。(大東)
- (9) 介護職員の待遇は悪い。子育て世代夫婦で働きながら介護をせざるを得ない。これでは、安心して子どもを産めない。核家族より多世代家族に焦点を。(東山)
- (10) 少子化対策として二十歳未満の医療費無償化、高校までの学費免除を。(一関)
- (11) 児童の検診を支所単位で。(花泉)
- (12) 保育園の待機児童解消を。(一関)
- (13) 舞川幼稚園は早く帰る状況。延長できないか。(一関)
- (14) 高齢者世帯、一人世帯が増加。対策の充実を。(一関)
- (15) 幼稚園が延長できなければ、学童に預けられないか。(一関)

- (16) 放射能被ばく調査である尿検査は困難。違う方法で調査を。(一関)
- (17) 藤沢地域の保健・医療。福祉政策を市の特徴にし、定住人口を呼び込むことの検討を。(藤沢)
- (18) 子育て環境整備として、休日などに子供を預けることができる体制を。(一関)
- (19) 大東病院の医師は1名が休職。院長の過労が心配。医師の確保を。(大東)
また、他の方法として、医療機関への公共交通確保を。(大東)
- (20) 在宅介護をしている方に支援を。介護保険料の上昇にならない施策を。(大東)
- (21) 高齢者などの見回りができる地域づくりを。(大東)
- (22) 高齢者の相互扶助制度の創設を。(高齢者しかいない)(大東)
- (23) 認知症予防対策の強化を。(大東)
- (24) 大東病院のプール廃止は残念。一関のプールは通年利用不可。(大東)

【環境・ゴミ】—14

- (1) 新センターは狐禅寺にこだわる必要はない。狐禅寺以外は傍観者でないか。市民全体で考えることが必要。(川崎、大東、花泉)
- (2) 川崎道の駅の山菜等が出荷自粛で年間1,500万円の売り上げ減。損害賠償の取組強化、支援を。(川崎)
- (3) 自粛が続いている山菜を新たに栽培したいが、支援策を求めたい。(川崎)
- (4) ゴミ袋は、旧一関の制度へ統一を。差別感がある。(大東)
- (5) 現行ではペットボトルを潰してゴミに出せない。量が嵩む。(花泉)
- (6) 狐禅寺は一連の焼却場建設問題で地域の和が崩壊。狐禅寺での懇談会開催を。(一関、大東、千厩)
- (7) 校庭の除染廃棄物はいつまで今のままか。(一関)
- (8) セイダカアワダチ草などの外来種対策を。(花泉)
- (9) 自家消費のしいたけの損害賠償を。(藤沢)
- (10) 家庭ゴミ袋の評判が悪い。(一関)
- (11) ゴミ袋は栗原市でも実施。なぜ、評判が悪いのか理解できない。(一関)
- (12) 側溝土砂の撤去はいつになるか。(一関)
- (13) 放射能汚染物質の仮置きはいつまでか。早期の対応を。(大東)
- (14) 畦畔等草地以外の放射能濃度の測定を。(大東)

【農業・産業】—29

- (1) グリーンツーリズムの充実を（予算の支援を含め）、市民農園で農業体験ができる仕組みを。（千厩、一関）
- (2) 農業農村整備事業予算の確保を願いたい。多面的機能を守る農地維持についても適切な予算確保を。（千厩、一関）
- (3) 小規模農家への支援を。特に農業用ハウスを導入できれば、小規模でも所得確保が可。（川崎、藤沢）
- (4) 特色ある農業として、市の元気な地域づくり事業を活用し、さくらんぼの栽培に取り組んでいるが、この事業は3年間限定。また、2年目からはハウスを建てるハードはダメとのこと。画一的な対応でない制度の運用を。（川崎）
- (5) 現在の農業政策は大規模農家に特化されている。Uターンする若い農家希望者への支援策の拡充強化を。（川崎）
- (6) 農機具のレンタル（リース）制度の創設を。（川崎）
- (7) 農業の体験型のために空き家活用で、ある程度滞在可能な制度創設を。（川崎）
- (8) 自分の生産物は市内への希望があるが、JA系統では生産者の意向が反映できない。市内への流通する体制構築を。（川崎）
- (9) 観光型として、サクランボに続き、ミカンを栽培したい。意欲があるが、ハード（ハウス）の支援制度の構築を。（川崎）
- (10) 市内の代表する産直であるかわさき道の駅の駐車場が不備。改善を。（川崎）
- (11) また、内装を利用者に便利なようリフォームしたいので、対応願いたい。（川崎）
- (12) 地場産業の活性化、中小企業、商店街対策に注力を。（一関）
- (13) 雇用の場の確保が全ての施策の原点。農業が雇用の受け皿になる可能性がある。（一関）
- (14) 攻めの農政の具体的な市の施策を。（一関）
- (15) 認定農業者に市は何を求めているのか。政策課題を団体に丸投げしていないか。農業を地域全体で守る考えを。（一関）
- (16) 首都圏開催のイベントの後に、引き合いがない。一過性になっていないか。（一関）
- (17) 継続可能な法人化運営の人材確保が必要。（一関）
- (18) 現在の国の政策では、大規模化は不可能。（一関）
- (19) 鳥獣対策として、一般農家が罠などで、捕獲駆除ができるよう法改正を。（一関）
- (20) 大型の鳥獣を捕獲した場合の補助、運搬対策を。（一関）

- (21) 地域農業は、地域全体で守る考えでの施策を。(一関)
- (22) 女性対象の農機具操作研修があるが、現場の農機具は最新式ではないことの考慮を。(一関)
- (23) 農業に直接関わらない住民へも農業への理解醸成の啓発を。(一関)
- (24) 多面的機能の事務処理が負担。事務処理の簡素化を。(一関)
- (25) ふるさと納税へのお礼に市内産の農産物活用を。(一関)
- (26) 農業は、短期でなく、長期の視点で施策を講じるべき。(一関)
- (27) 市内農地は中山間。農地中間管理事業に市の関与を強力に。(一関)
- (28) 食文化を破壊された原発事故について、損害賠償を求めること。(一関)
- (29) 新たな工業団地が必要でないか。(大東)

【社会資本整備】—22

- (1) 国道、県道、市道整備を加速度的に実施すること。(千厩)
- (2) 道路整備の合併前の請願の実現を。(千厩)
- (3) 災害時には、民間業者の活用がカギ。連携を深める対策を期待。(千厩)
- (4) 浄化槽を統一することに異議がある。(大東)
- (5) 浄化槽を統一しても、利用者の負担が増加しない仕組みを。(大東)
- (6) 国道 343 号笹ノ田トンネル化を。(大東)
- (7) 全天候型の施設を整備し、子どもの遊べる環境整備を。(東山)
- (8) 一ノ関駅東口の自由通路の実現を。(一関)
- (9) 花泉こども園の隣接市道の改良舗装を。(花泉)
- (10) 室根の上水道整備について、困っている方の調査が必要。(室根)
- (11) 藤沢では空き家や人口減で下水道の採算が採れない。対策を。(藤沢)
- (12) 黄海川の治水対策の推進。(藤沢)
- (13) 下水道は人口減少を踏まえて検討すべきだった。将来負担が心配。(一関)
- (14) 下水道整備で後継者が戻った事例が二戸市である。整備促進を。(一関)
- (15) 下水道の賦課金は一関地域では面積割り。農家は面積が大きく不公平感ある。(一関)
- (16) サハラガラスの近郊は準工業地帯のため、農業サイドの補助事業が導入できない。(一関)
- (17) 合併処理浄化槽の放流先を照井土地改良区より許可ならず苦慮。指導を。(一関)
- (18) 運動公園のテニスコート整備は中途半端。東北規模の大会開催できるように。(一関)

- (19) ドクターヘリに依存する方法もあるが、そこまでの道路整備を。(大東)
- (20) 砂鉄川の活用でエネルギー（発電）を。(大東)
- (21) 被災した箇所の工事が実施されないし、説明もない。(大東)
- (22) 大東の流矢・金取線（市道）が着工から 30 年。早期開通と市営バス運行を。(大東)

【教育】—18

- (1) 統合後の校舎活用策を積極的に取り組むこと。(千厩)
- (2) 東山中の駐車場の拡張を。(東山)
- (3) 小学校が統合したが、防犯灯が必要。特に山谷地域。(東山)
- (4) 少子化で部活の種目に制限が生じている。あらゆる政策で少子化の解消を。(東山)
- (5) 統合し、小学校は新校舎になるが、体育館、プールも同時に整備を。(東山)
- (6) 田河津地域の通学路整備を。(東山)
- (7) 小学校のスポ少の種目が中学ではない。数校でチーム編成をしても子どもの希望の実現を。(東山)
- (8) スクールバスの乗降場所に県道の側道（チェーン脱着場）の活用を。(東山)
- (9) 益々、少子化となる。新校舎建設時の今から将来の校舎活用策が必要。(東山)
- (10) 給食センター方式で地域の食材が思うように入手できないと聞く。元の自校方式に戻した方が良い。(一関)
- (11) 花泉地域小学校の統合。(花泉)
 - ・安全・安心を第一に
 - ・跡地活用
 - ・時期尚早
 - ・スポ少がまとまるか
 - ・地元の説明会等開催は、多くの保護者が参加できるよう工夫を
 - ・保護者と当局の考えに差異がある。丁寧な説明で合意を
- (12) 花泉高校の存続を。廃止になれば地域の衰退。(花泉)
- (13) 舞川地区では中学の統合の話がある。小中一貫で存続する方法はないか。(一関)
- (14) いじめ問題や学力向上が教育では重要。教師は多忙すぎる。待遇改善を。(一関)
- (15) 秋田では給食の無料化を実施している。当市でも実施を。(一関)

- (16) 給食センターの民間委託は問題がある。削減する内容が違う。(一関)
- (17) 花泉地域にイベントに対応する施設整備を。(花泉)
- (18) 地域づくりは学校が中心。統合で、地域づくりの面が心配。(藤沢)